

平成 30 年 3 月 30 日

各 位

| | |
|------|-------------------------------------|
| 会社名 | 国際石油開発帝石株式会社 |
| 代表者名 | 代表取締役社長 北村 俊昭 (コード番号 1605 東証第一部) |
| 問合せ先 | 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 細野 宗宏 |
| 電話番号 | 03-5572-0233 |

インドネシア共和国 アバディ LNG プロジェクトにおける
Pre-FEED 作業の開始について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、当社子会社インペックスマセラアラフラ海石油株式会社を通じてオペレーターを務めるインドネシア共和国アラフラ海マセラ鉦区アバディ LNG プロジェクトにおいて、この度、陸上LNGのPre-FEED（概念設計）作業を開始する運びとなりましたのでお知らせいたします。Pre-FEED作業の開始は、本プロジェクトの早期実現に向けた重要なマイルストーンとなります。

当社は、2015年9月にインドネシア政府当局（以下、政府当局）に対して、液化天然ガス（LNG）年産750万トン規模の処理能力を有するフローティングLNG（Floating LNG：浮体構造に天然ガス液化・貯蔵・出荷設備を搭載した施設）を採用してアバディガス田の開発を行う計画を提出したところ、2016年4月に政府当局より、陸上LNGによる開発計画の再検討を求める内容の通知を受領いたしました。その後、政府当局との経済性確保を含めた建設的な協議結果を踏まえ、今般、年産950万トン規模を想定する陸上LNGのPre-FEED作業の開始の決定に至りました。

今後、Pre-FEED作業と並行して政府当局とプロジェクトの競争力を高めるための協議をさらに進め、これらの結果に基づき具体的な改定開発計画を策定する予定です。なお、最終投資決定（FID）は改定開発計画承認後に実施されるFEED（基本設計）作業等の各種検討作業を踏まえて行う予定です。

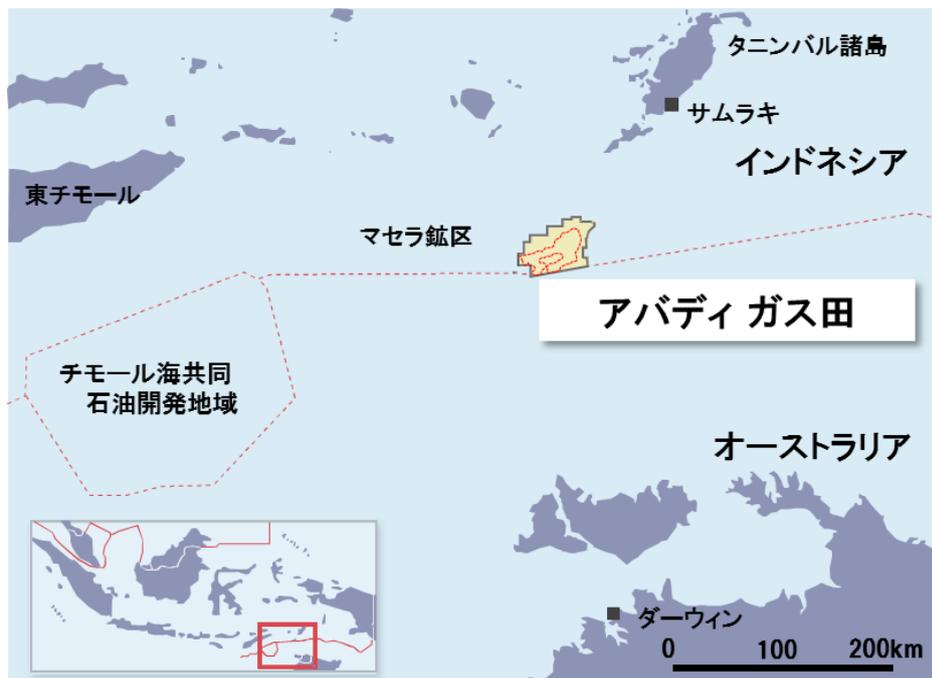
なお、本件による当社連結業績への影響は軽微です。

以上

国際石油開発帝石株式会社

INPEX CORPORATION

< 鉱区位置図 >



< アバディ LNG プロジェクトの概要 >

| | |
|----------|--|
| 鉱区 | インドネシア共和国 マセラ鉱区 |
| 生産分与契約期限 | 2028 年まで（契約期限延長に関して政府当局と協議中） |
| 鉱区面積 | 約 2,503 平方キロメートル |
| 水深 | 400 - 800 メートル |
| 鉱区位置 | マルク州サムラキ市沖合約 150 キロメートル |
| 生産規模 | LNG 年産 950 万トン規模。また、加えて鉱区周辺地域の現地需要向けのパイプラインガス供給を予定。 |
| 権益比率 | 当社（オペレーター、インペックスマセラアラフラ海石油（株）、当社連結子会社（当社出資比率 51.93%））： 65% SHELL 社： 35% |